

---

# 第一波感染シミュレーションの再現性: 政策含意

2023年8月4日

仲田泰祐・芳賀沼和哉・塚原悠貴（東京大学）

## 政策含意

- 様々な分析を参考にすることの重要性
  - 例：SPI-M-O、内閣官房AI・シミュレーションプロジェクト
  - いくつかのチームが同じ間違いを同時に犯す可能性は一つのチームが間違いを犯す可能性よりも低い
- Fact-Checkのための時間と労力の確保
  - 短期間で分析を行う場合やストレスのある状況で分析を行う場合には、特にミスが発生しやすい
  - コロナ禍で正式な会議に提出された分析は、（私のチームの資料も含めて）第三者によってFact-Checkされていない場合が多い
    - 資料にミスがあり訂正されていない例：Page 11 in <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000964718.pdf>

## 一般の人々・メディアへの含意

- 分野によっては「専門知」は物理の法則のような真実ではないことへの理解
  - 特にシミュレーション分析では、モデル設定・パラメータ設定等に分析者の価値判断が反映される
  - 特に、危機時における分析は短期間で行われるため、科学的妥当性が担保しにくい
  - さらには、「第一波感染シミュレーションの再現性」から示唆されるように、一人の研究者が分析過程における間違いをゼロにすることは困難
- 「専門知」に対する健全な批判精神を育むことの重要性
  - コロナ禍においては、日本のメディアは「専門知の不定性」を強調しない傾向
    - 菅原慎悦（2022）「新聞メディアはCOVID-19をどう報じたか？—全国紙における「接触8割減」の内容分析」
      - [https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/Sugawara\\_20220215.pdf](https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/Sugawara_20220215.pdf)
  - 議事録によると、厚労省AB・コロナ分科会等においては、感染シミュレーション分析の妥当性に関する議論が少ない傾向
    - 仲田（2023）「政策と専門知：アメリカの金融政策と日本のコロナ政策の比較」
      - <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/policy-analysis-51/>

- Taisuke Nakata is supported by JSPS Grant-in-Aid for Scientific Research (KAKENHI), Project Number 22H04927, Research Institute of Science and Technology for Society at Japan Science and Technology Agency (21459724), COVID-19 AI and Simulation Project (run by Mitsubishi Research Institute and commissioned by Cabinet Secretariat, the Government of Japan), Center for Advanced Research in Finance at University of Tokyo, and Tokyo Center for Economic Research.

- **過去・現在の政策分析と研究**

- <https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/>
- <https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html>